

#### 4. 倫理的配慮

本調査は、明治国際医療大学研究倫理委員会(受付番号 22-55)で承認された内容に基づいて実施した。また、アンケート回答者への権利の保護については、「疫学研究に関する倫理指針」(平成 14 年 6 月 17 日 文部科学省・厚生労働省、平成 20 年 12 月 1 日 一部改正)に基づき実施した。また、患者にはアンケートに同封した協力依頼文書(説明文書)により同意を得るものとした。

#### 5. 統計解析

連続変数については平均及び標準偏差で表し、カテゴリカル変数については回答総数に対する割合(%)を集計した。治療効果、鍼灸師とのコミュニケーション、鍼灸師への信頼度、治療院全体の衛生管理については VAS 及びカテゴリカルスケールの 2 種類の評価法を、総合的な満足度については、VAS、カテゴリカルスケール、FS の 3 種類の評価法をそれぞれ用いて調査し、回答の信頼性については Cronbach の  $\alpha$  係数を算出して確認した。回答者の基本情報における男女差は  $\chi^2$  検定を用い、鍼灸治療対象症状の男女差は Fisher の直接法を用いて検定した。鍼灸治療に対する総合的な満足度と各調査項目との相関関係は Shapiro-Wilk 検定で正規性を確認した上で、Spearman の順位相関係数を算出し検討した。総合的な満足度に関連の深い要因(各調査項目)を抽出するために変数増加法による重回帰分析を使用した。有意水準は  $P < 0.05$  とした。統計解析には、SPSS11.0J for Windows 及び R<sup>12)</sup>を使用した。

### C. 結果

#### 1. 回収結果

配布した 2,379 通のうち約 1 ヶ月間に回収された調査票は 1,441 通(回収率 60.6%)であり、有効回答数は 1,434 通(有効回答率 60.3%)であった。

#### 2. 基本情報

対象者 1434 名の平均年齢は、56.7 [16.1] 歳(男性 55.2 [16.6] 歳、女性 57.2 [16.0] 歳)、性別の分布は男性 405 名(28.2%)、女性 1011 名(70.5%)、無回答 18 名(1.3%)であった(表 1)。

表 1: 対象者の人数、性別、平均年齢

性別	人数 (%)	平均年齢 [標準偏差]
男性	405 (28.2)	55.2 [16.6]
女性	1011 (70.5)	57.2 [16.0]
無回答	18 (1.3)	
全体	1434 (100)	56.7 [16.1]

職業は、会社員・自営業 523 名:37.0% (男性 259 名:64.0%、女性 264 名:26.1%)、家事(主婦) 490 名:34.6% (男性 1 名:0.2%、女性 489 名:48.3%)、その他 168 名:11.9% (男性 33 名:8.2%、女性 135 名:13.4%)、退職者 156 名:11.0% (男性 98 名:24.2%、女性 58 名:5.7%)、無回答 43 名:3.0% (男性 6 名:1.5%、女性 37 名:3.7%) であった(表 2)。

表 2: 対象者の職業

職業	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
会社員・自営業	259 (64.0)	264 (26.1)	523 (37.0)
退職者	98 (24.2)	58 (5.7)	156 (11.0)
家事(主婦)	1 (0.2)	489 (48.3)	490 (34.6)
学生	5 (1.2)	15 (1.5)	20 (1.4)
求職中	3 (0.7)	13 (1.3)	16 (1.1)
その他	33 (8.2)	135 (13.4)	168 (11.9)
無回答	6 (1.5)	37 (3.7)	43 (3.0)
全体	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

#### 3. 信頼性分析の結果

各質問項目での Standardized item alpha は、治療効果 0.8836、鍼灸師とのコミュニケーション 0.8669、鍼灸師への信頼度 0.8491、治療院全体で

の衛生管理 0.8729、総合的な満足度 0.8923 となり、信頼性分析を行った全ての評価法では高い信頼性が認められたため、VAS を統計解析で用いた。

#### 4. 健康状態について

##### 1) Euro Qol (Tariff スコア) の結果

EuroQol (健康状態 Tariff スコア) の結果は、平均 0.79 [0.15] (有効数 1363 名) であった。また、性別では男性平均 0.80 [0.16] (有効数 391 名)、女性平均 0.79 [0.14] (有効数 972 名) であった (表 3)。

表 3 : Euro Qol (Tariff スコア)

性別	人数	平均 [標準偏差]
男性	391	0.80 [0.16]
女性	972	0.79 [0.14]
全体	1363	0.79 [0.15]

##### 2) 今日の健康状態 (カテゴリによる評価)

今日の健康状態 (有効数 1397 名) の結果は、「ほとんど同じ」が 902 名:64.6% (男性 272 名:68.0%、女性 630 名:63.2%) と最も多く、「より良い」が 380 名:27.2% (男性 91 名:22.8%、女性 289 名:29.0%)、「より悪い」が 115 名:8.2% (男性 37 名:9.2%、女性 78 名:7.8%) であった (表 4)。

表 4 : 今日の健康状態 (カテゴリによる評価)

健康状態	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
より良い	91 (22.8)	289 (29.0)	380 (27.2)
ほとんど同じ	272 (68.0)	630 (63.2)	902 (64.6)
より悪い	37 (9.2)	78 (7.8)	115 (8.2)
合計	400 (100)	997 (100)	1397 (100)

##### 3) 今日の健康状態 (VAS による評価)

今日の健康状態 (VAS による評価) の結果は、平均で 69.5 [16.1] (有効数 1328 名) であった。また、性別では男性平均 69.5 [15.7] (有効数 375

名)、女性平均 69.6 [16.1] (有効数 953 名) であった (表 5)。

表 5 : 今日の健康状態 (VAS による評価)

性別	人数	平均 [標準偏差]
男性	375	69.5 [15.7]
女性	953	69.6 [16.1]
全体	1328	69.5 [16.1]

##### 4) SF-36 の結果

SF-36 の結果は、身体機能 (PF) が 45.86 [14.31]、身体の日常的役割機能 (RP) が 44.02 [13.34]、体の痛み (BP) が 42.48 [9.56]、全体的健康感 (GH) が 45.95 [9.90]、活力 (VT) が 46.79 [9.96]、社会的な生活機能 (SF) が 45.35 [12.30]、精神の日常役割機能 (RE) が 46.52 [12.11]、心の健康 (MH) が 48.21 [10.29] であった (表 6)。

表 6 : SF-36 の国民標準値に基づいた得点 (NBS スコア)

SF-36	平均 [標準偏差]
身体機能 (PF)	45.86 [14.31]
日常役割機能 (身体) (RP)	44.02 [13.34]
体の痛み (BP)	42.48 [9.56]
全体的健康感 (GH)	45.95 [9.90]
活力 (VT)	46.79 [9.96]
社会生活機能 (SF)	45.35 [12.30]
日常役割機能 (精神) (RE)	46.52 [12.11]
心の健康 (MH)	48.21 [10.29]

#### 5. 鍼灸治療の症状について

##### 1) 現在鍼灸治療で受けている症状

鍼灸治療で受けている症状の部位・領域別の結果 (複数回答) では、有効回答数 1416 名で肩の症状 1002 名:70.8% (男性 244 名:60.2%、女性 758 名:75.0%)、腰・背部の症状 949 名:67.0% (男性 269 名:66.4%、女性 680 名:67.3%)、首の症状 871 名:61.5% (男性 213 名:52.6%、女性 658

名:65.1%)、自律神経の症状 683 名:48.2% (男性 158 名:39.0%、女性 525 名:51.9%)、膝・足の症状 652 名:46.0% (男性 157 名:38.8%、女性 495 名:49.0%)、目の症状 485 名:34.3% (男性 128 名:31.6%、女性 357 名:35.3%)、手の症状 403 名:28.5% (男性 105 名:25.9%、女性 298 名:29.5%)、皮膚の症状 307 名:21.7% (男性 67 名:16.5%、女性 240 名:23.7%)、便通の症状 268 名:18.9% (男性 68 名:16.8%、女性 200 名:19.8%)、耳の症状 238 名:16.8% (男性 74 名:18.3%、女性 164 名:16.2%)、排尿の症状 198 名:14.0% (男性 97 名:15.8%、女性 134 名:13.3%)、鼻の症状 195 名:14.0% (男性 57 名:14.1%、女性 138 名:13.6%)、呼吸器の症状 162 名:11.4% (男性 46 名:11.4%、女性 116 名:11.5%)、婦人科の症状 129 名:9.1% (女性 129 名:12.8%)、上記以外の症状 114 名:8.1% (男性 28 名:6.9%、女性 86 名:8.5%)、の順で、上位 3 症状は運動器系愁訴に関連する項目が挙げられた (表 7)。

表 7：鍼灸治療を受けている症状 (性別・部位・領域別)

症状の部位	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
手の症状	105 (25.9)	298 (29.5)	403 (28.5)
首の症状	213 (52.6)	658 (65.1)	871 (61.5)
肩の症状	244 (60.2)	758 (75.0)	1002 (70.8)
腰・背部の症状	269 (66.4)	680 (67.3)	949 (67.0)
膝・足の症状	157 (38.8)	495 (49.0)	652 (46.0)
自律神経の症状	158 (39.0)	525 (51.9)	683 (48.2)
皮膚の症状	67 (16.5)	240 (23.7)	307 (21.7)
耳の症状	74 (18.3)	164 (16.2)	238 (16.8)
目の症状	128 (31.6)	357 (35.3)	485 (34.3)
鼻の症状	57 (14.1)	138 (13.6)	195 (13.8)
便通の症状	68 (16.8)	200 (19.8)	268 (18.9)
排尿の症状	64 (15.8)	134 (13.3)	198 (14.0)
呼吸器の症状	46 (11.4)	116 (11.5)	162 (11.4)

婦人科の症状	0 (0)	129 (12.8)	129 (9.1)
上記以外の症状	28 (6.9)	86 (8.5)	114 (8.1)

症状の詳細の結果 (複数回答) では、有効回答数 1416 名で肩のこり 846 名:59.7% (男性 192 名:47.4%、女性 654 名:64.7%) が最も多く、腰痛 814 名:57.5% (男性 238 名:58.8%、女性 576 名:57.0%)、首のこり 755 名:53.3% (男性 167 名:41.2%、女性 588 名:58.2%) と筋骨格系愁訴が上位を占めたが、次いで、目の疲れ 359 名:25.4% (男性 87 名:21.5%、女性 272 名:27.0%)、肩の痛み 315 名:22.2% (男性 82 名:20.2%、女性 233 名:23.1%)、膝痛 296 名:20.9% (男性 54 名:13.3%、女性 242 名:24.0%)、冷え 295 名:20.8% (男性 47 名:11.6%、女性 248 名:24.5%)、背部痛 294 名:20.8% (男性 81 名:20.0%、女性 213 名:21.1%) と目の疲れや冷えといった日常生活の中での身近な愁訴がみられた (表 8)。

表 8：鍼灸治療を受けている症状

症状	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
手のしびれ	35 (8.6)	90 (8.9)	125 (8.8)
手の痛み	36 (8.9)	96 (9.5)	132 (8.3)
手の関節が痛む	26 (6.4)	86 (8.5)	112 (7.9)
手の動きが悪い	26 (6.4)	49 (4.8)	75 (5.3)
首のこり	167 (41.2)	588 (58.2)	755 (53.3)
首の痛み	70 (17.3)	202 (20.0)	272 (19.2)
肩のこり	192 (47.4)	654 (64.7)	846 (59.7)
肩の痛み	82 (20.2)	233 (23.1)	315 (22.2)
腰痛	238 (58.8)	576 (57.0)	814 (57.5)
背部痛	81 (20.0)	213 (21.1)	294 (20.8)
おしりの痛み	49 (12.1)	131 (13.0)	180 (12.7)
膝痛	54 (13.3)	242 (24.0)	296 (20.9)
足のしびれ	42 (10.4)	116 (11.5)	158 (11.2)
足の痛み	41 (10.1)	113 (11.2)	154 (10.9)

足の関節が痛む	29 (7.2)	109 (10.8)	138 (9.7)
足の動きが悪い	34 (8.4)	78 (7.7)	112 (7.9)
頭痛	42 (10.4)	188 (18.6)	230 (16.2)
疲労倦怠感	67 (16.5)	150 (14.8)	217 (15.3)
不眠	44 (10.9)	131 (13.0)	175 (12.4)
物忘れ	21 (5.2)	44 (4.4)	65 (4.6)
体がだるい	54 (13.3)	127 (12.6)	181 (12.8)
イライラする	24 (5.9)	82 (8.1)	106 (7.5)
冷え	47 (11.6)	248 (24.5)	295 (20.8)
のぼせ	9 (2.2)	37 (3.7)	46 (3.2)
冷えのぼせ	8 (2.0)	39 (3.9)	47 (3.3)
めまい	10 (2.5)	81 (8.0)	91 (6.4)
皮膚がかゆい	32 (7.9)	117 (11.6)	149 (10.5)
皮膚が乾燥する	35 (8.6)	130 (12.9)	165 (11.7)
肌荒れ	11 (2.7)	51 (5.0)	62 (4.4)
耳鳴り	48 (11.9)	115 (11.4)	163 (11.5)
難聴	27 (6.7)	51 (5.0)	78 (5.5)
目の疲れ	87 (21.5)	272 (27.0)	359 (25.4)
目のかすみ	42 (10.4)	104 (10.3)	146 (10.3)
鼻汁が出る	28 (6.9)	68 (6.7)	96 (6.8)
鼻がつまる	30 (7.4)	66 (6.5)	96 (6.8)
便秘	39 (9.6)	151 (14.9)	190 (13.4)
下痢	18 (4.4)	21 (2.1)	39 (2.8)
便秘と下痢を繰り返す	12 (3.0)	24 (2.4)	36 (2.5)
頻尿	32 (7.9)	67 (6.6)	99 (7.0)
排尿の切れが悪い	35 (8.6)	28 (2.8)	63 (4.5)
尿漏れ	10 (2.5)	40 (4.0)	50 (3.5)
尿失禁	2 (0.5)	13 (1.3)	15 (1.1)
咳や痰が出る	30 (7.4)	79 (7.8)	109 (7.7)
息苦しい	11 (2.7)	28 (2.8)	39 (2.8)
ゼゼイ、ヒューヒューする	4 (1.0)	20 (2.0)	24 (1.7)
生理異常	0 (0.0)	10 (1.0)	10 (0.7)
生理不順	0 (0.0)	33 (3.3)	33 (2.3)
不妊	0 (0.0)	51 (5.0)	51 (3.6)
生理痛	0 (0.0)	30 (3.0)	30 (2.1)
上記以外の症状	28 (6.9)	85 (8.4)	113 (8.0)

## 2) 鍼灸治療を受けている症状について他の医療機関を受診しているか？

鍼灸治療を受けている症状に対して、他の医療機関を受診しているかについては、全体（有効回答 1416 名）では、「はい」592 名：41.8%、「いいえ」799 名：56.4%となった。性別では、男性で「はい」164 名：40.5%、「いいえ」233 名：57.5%、女性で「はい」428 名：42.3%、「いいえ」566 名：56.0%であった（表 9）。受診ありの回答での診療科については複数回答で整形外科 281 名、内科 139 名、マッサージ 71 名、耳鼻咽喉科 51 名、接骨院 49 名、産婦人科 43 名、脳神経外科 36 名、眼科 36 名、心療内科 32 名、カイロプラクティック 30 名、外科 26 名、皮膚科 23 名、神経科 16 名、歯科 16 名、精神科 10 名、泌尿器科 10 名であった。

表 9：鍼灸を受けている症状について他の医療機関を受診しているか？

受診の有無	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
はい	164 (40.5)	428 (42.3)	592 (41.8)
いいえ	233 (57.5)	566 (56.0)	799 (56.4)
無回答	8 (2.0)	17 (1.7)	25 (1.8)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 6. 鍼灸治療の通院について

### 1) 鍼灸院への通院期間

鍼灸治療院への通院期間については、全体 1416 名に対して「1 年未満」が 313 名：22.1%、「10 年以上」が 256 名：18.1%と高い割合を示し、また 1 年以上継続して通院している患者の合計は 1047 名（74.0%）と 7 割以上を占めた（表 10）。

表 10：鍼灸院への通院期間

通院期間	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
初診	4 (1.0)	12 (1.2)	16 (1.1)
1 年未満	83 (20.5)	230 (22.7)	313 (22.1)

1～2年未満	60 (14.8)	111 (11.0)	171 (12.1)
2～3年未満	50 (12.4)	128 (12.6)	178 (12.5)
3～4年未満	44 (10.9)	96 (9.5)	140 (9.9)
4～5年未満	16 (4.0)	52 (5.1)	68 (4.8)
5～6年未満	35 (8.6)	74 (7.3)	109 (7.7)
6～7年未満	14 (3.5)	31 (3.1)	45 (3.2)
7～8年未満	7 (1.7)	33 (3.3)	40 (2.8)
8～9年未満	7 (1.7)	24 (2.4)	31 (2.2)
9～10年未満	3 (0.7)	6 (0.6)	9 (0.7)
10年以上	73 (18.0)	183 (18.1)	256 (18.1)
無回答	9 (2.2)	31 (3.1)	40 (2.8)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 2) 鍼灸院への通院割合

鍼灸院への通院割合については、「1ヶ月に4回程度」521名:36.8%（男性135名:33.1%、女性386名:38.2%）と高い割合を占め、次いで「1ヶ月に2回程度」292名:20.6%（男性89名:22.0%、女性203名:20.0%）、「1ヶ月に1回程度」204名:14.4%（男性56名:13.8%、女性148名:14.6%）、「1ヶ月に8回以上」202名:14.3%（男性65名:16.1%、女性137名:13.5%）となった（表11）。

表11：鍼灸院への通院割合

通院割合	男性(%)	女性(%)	合計(%)
初診	4 (1.0)	12 (1.2)	16 (1.1)
1カ月に1回程度	56 (13.8)	148 (14.6)	204 (14.4)
1カ月に2回程度	89 (22.0)	203 (20.0)	292 (20.6)
1カ月に3回程度	14 (3.5)	43 (4.3)	57 (4.0)
1カ月に4回程度	135 (33.1)	386 (38.2)	521 (36.8)
1カ月に5回程度	2 (0.5)	8 (0.8)	10 (0.7)
1カ月に6回程度	1 (0.2)	3 (0.3)	4 (0.3)
1カ月に7回程度	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)
1カ月に8回以上	65 (16.1)	137 (13.5)	202 (14.3)
2カ月に1回程度	9 (2.2)	17 (1.7)	26 (1.8)

3ヶ月に1回程度	11 (2.7)	9 (0.9)	20 (1.4)
4ヶ月に1回程度	2 (0.5)	2 (0.2)	4 (0.3)
5ヶ月に1回程度	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
6カ月に1回程度	9 (2.2)	4 (0.4)	13 (0.9)
6ヶ月に1回未満	3 (0.7)	6 (0.6)	9 (0.6)
無回答	6 (1.5)	32 (3.2)	38 (2.7)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 7. 鍼灸治療での施術者との関係について

### 1) 先生はあなたの顔を見て話を聞いてくれたか？

先生が顔を見てくれたかについては、「全く見てくれなかった」との回答はみられず、「ほとんど見てくれなかった」17名:1.2%（男性5名:1.2%、女性12名:1.2%）、「少し見てくれた」87名:6.1%（男性32名:7.9%、女性55名:5.4%）、「かなり見てくれた」403名:28.5%（男性119名:29.4%、女性284名:28.1%）、「十分に見てくれた」890名:62.9%（男性245名:60.5%、女性645名:63.8%）となった（表12）。

表12：先生はあなたの顔を見て話を聞いてくれたか？

顔を見てくれたか	男性(%)	女性(%)	合計(%)
全く見てくれなかった	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ほとんど見てくれなかった	5 (1.2)	12 (1.2)	17 (1.2)
少し見てくれた	32 (7.9)	55 (5.4)	87 (6.1)
かなり見てくれた	119 (29.4)	284 (28.1)	403 (28.5)
十分に見てくれた	245 (60.5)	645 (63.8)	890 (62.9)
無回答	4 (7.9)	15 (1.5)	19 (1.3)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

### 2) 先生と会話する時の先生との距離はどのよう に思うか？

先生との距離については、「ぜんぜん良くない」の回答はみられず、一方「とても良い」697名:49.3%（男性183名:45.2%、女性514

名:50.8%)となり、「良い」、「とても良い」の回答があわせて1268名(89.6%)と多数を占めた(表13)。

表13:先生と会話する時の先生との距離はどのように思  
うか?

話の距離	男性(%)	女性(%)	合計(%)
ぜんぜん良くない	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
良くない	1(0.2)	1(0.1)	2(0.1)
まあまあ	50(12.4)	86(8.5)	136(9.6)
良い	168(41.5)	403(39.9)	571(40.3)
とても良い	183(45.2)	514(50.8)	697(49.3)
無回答	3(0.7)	7(0.7)	10(0.7)
合計	405(100)	1011(100)	1416(100)

### 3)先生の言葉遣いはどうか?

先生の言葉遣いについては、「とても良い」773名:54.6%(男性194名:48.0%、女性379名:57.2%)と半数以上を占め、次いで「良い」552名:38.9%(男性173名:42.7%、女性379名:37.5%)、「まあまあ」75名:5.3%(男性31名:7.7%、女性44名:4.4%)そして、「ぜんぜん良くない」、「良くない」の回答はほとんどみられなかった(表14)。

表14:先生の言葉遣いはどうか?

言葉遣い	男性(%)	女性(%)	合計(%)
ぜんぜん良くない	1(0.2)	0(0.0)	1(0.1)
良くない	3(0.7)	2(0.2)	5(0.4)
まあまあ	31(7.7)	44(4.4)	75(5.3)
良い	173(42.7)	379(37.5)	552(38.9)
とても良い	194(48.0)	579(57.2)	773(54.6)
無回答	3(0.7)	7(0.7)	10(0.7)
合計	405(100)	1011(100)	1416(100)

### 4)先生は、あなたの訴えに「うなずき」や「相

### づち」をしてくれたか?

「うなずき」、「相づち」については、「全くしてくれなかった」、「ほとんどしてくれなかった」の回答はほとんどみられず、「いつもしてくれた」964名:68.1%(男性241名:59.6%、女性723名:71.5%)、「ほとんどいつもしてくれた」378名:26.7%(男性128名:31.6%、女性250名:24.7%)、「ときどきしてくれた」61名:4.3%(男性31名:31.6%、女性30名:3.0%)となった(表15)。

表15:先生はあなたの訴えに「うなずき」や「相づち」  
をしてくれたか?

うなずき・相づち	男性(%)	女性(%)	合計(%)
全くしてくれなかった	1(0.2)	0(0.0)	1(0.1)
ほとんどしてくれなかった	1(0.2)	2(0.2)	3(0.2)
ときどきしてくれた	31(7.7)	30(3.0)	61(4.3)
ほとんどいつもしてくれた	128(31.6)	250(24.7)	378(26.7)
いつもしてくれた	241(59.6)	723(71.5)	964(68.1)
無回答	3(0.7)	6(0.6)	9(0.6)
合計	405(100)	1011(100)	1416(100)

### 5)先生は、あなたの訴えを繰り返し確認してく れたか?

訴えの確認については、「全く確認してくれなかった」の回答ほとんどはなく、「ほとんど確認してくれなかった」6名:0.4%(男性4名:1.0%、女性2名:0.2%)、「少し確認してくれた」110名:7.8%(男性45名:11.1%、女性65名:6.4%)、「かなり確認してくれた」476名:33.6%(男性153名:37.8%、女性323名:32.0%)、「十分に確認してくれた」813名:57.5%(男性200名:49.4%、女性613名:60.6%)となった(表16)。

表16:先生はあなたの訴えを繰り返し確認してくれ  
たか?

訴えの確認	男性(%)	女性(%)	合計(%)

全く確認してくれなかった	1 ( 0.2)	1 ( 0.1)	2 ( 0.1)
ほとんど確認してくれなかった	4 ( 1.0)	2 ( 0.2)	6 ( 0.4)
少し確認してくれた	45 (11.1)	65 ( 6.4)	110 ( 7.8)
かなり確認してくれた	153 (37.8)	323 (32.0)	476 (33.6)
十分に確認してくれた	200 (49.4)	613 (60.6)	813 (57.5)
無回答	2 ( 0.5)	7 ( 0.7)	9 ( 0.6)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

#### 6) 先生は、あなたの話を聞いてくれるのに十分な時間を取ってくれたか？

患者の話聞く時間については、「十分に取ってくれた」759名:53.6% (男性195名:48.1%、女性564名:55.8%)、「かなり取ってくれた」510名:36.0% (男性151名:37.3%、女性359名:35.5%)、「少し取ってくれた」129名:9.1% (男性51名:12.6%、女性78名:7.7%)、「ほとんど取ってくれなかった」10名:0.7% (男性6名:1.5%、女性4名:0.4%)となり、「全く取ってくれなかった」の回答はみられなかった(表17)。

表 17 : 先生はあなたの話を聞いてくれるのに十分な時間を取ってくれたか？

話を聞く時間	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
全く取ってくれなかった	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
ほとんど取ってくれなかった	6 ( 1.5)	4 ( 0.4)	10 ( 0.7)
少し取ってくれた	51 (12.6)	78 ( 7.7)	129 ( 9.1)
かなり取ってくれた	151 (37.3)	359 (35.5)	510 (36.0)
十分に取ってくれた	195 (48.1)	564 (55.8)	759 (53.6)
無回答	2 ( 0.5)	6 ( 0.6)	8 ( 0.6)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

#### 7) 先生にあなたの症状のことを話しやすかったか？

話しやすさについては、「とても話しやすかった」934名:66.0% (男性234名:57.8%、女性700名:69.3%)、「かなり話しやすかった」390

名:27.5% (男性138名:34.1%、女性252名:24.9%)、「少し話しやすかった」77名:5.4% (男性25名:6.2%、女性52名:5.1%)となり、「かなり話しづらかった」3名:0.2% (男性3名:0.7%)、「とても話しづらかった」4名:0.3% (男性3名:0.7%、女性1名:0.1%)となった(表18)。

表 18 : 先生にあなたの症状ことを話しやすかったか？

症状の話しやすさ	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
とても話しづらかった	3 ( 0.7)	1 ( 0.1)	4 ( 0.3)
かなり話しづらかった	3 ( 0.7)	0 ( 0.0)	3 ( 0.2)
少し話しやすかった	25 ( 6.2)	52 ( 5.1)	77 ( 5.4)
かなり話しやすかった	138 (34.1)	252 (24.9)	390 (27.5)
とても話しやすかった	234 (57.8)	700 (69.3)	934 (66.0)
無回答	2 ( 0.5)	6 ( 0.6)	8 ( 0.6)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

#### 8) 先生から受けた説明は、あなたにとって分かりやすかったか？

説明の分かりやすさについては、「ほとんど分かった」787名:55.6% (男性243名:60.0%、女性544名:53.8%)、「完全に分かった」509名:35.9% (男性120名:29.6%、女性389名:38.5%)、「少し分かった」104名:7.4% (男性35名:8.7%、女性69名6.8%)「ほとんど分からなかった」8名:0.6% (男性4名:1.0%、女性4名0.4%)の順になり、「全く分からなかった」の回答はほとんどみられなかった(表19)。

表 19 : 先生から受けた説明はあなたにとって分かりやすかったか？

説明の分かりやすさ	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
全く分からなかった	1 ( 0.2)	1 ( 0.1)	2 ( 0.1)
ほとんど分からなかった	4 ( 1.0)	4 ( 0.4)	8 ( 0.6)
少し分かった	35 ( 8.7)	69 ( 6.8)	104 ( 7.4)

ほとんど分かった	243 (60.0)	544 (53.8)	787 (55.6)
完全に分かった	120 (29.6)	389 (38.5)	509 (35.9)
無回答	2 (0.5)	4 (0.4)	6 (0.4)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

9) 先生は、あなたの状態（病状）の説明に十分な時間を取ってくれたか？

患者への状態の説明時間については、「全く取ってくれなかった」の回答はみられず、「十分に取ってくれた」656名:46.3%（男性168名:41.5%、女性488名:48.3%）、「かなり取ってくれた」584名:11.2%（男性170名:42.0%、女性414名:40.9%）、「少し取ってくれた」158名:11.2%（男性60名:14.8%、女性98名:9.7%）、「ほとんど取ってくれなかった」8名:0.6%（男性4名:1.0%、女性4名:0.4%）となった（表20）。

表 20：先生はあなたの状態（病状）の説明に十分な時間を取ってくれたか？

状態の説明時間	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
全く取ってくれなかった	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ほとんど取ってくれなかった	4 (1.0)	4 (0.4)	8 (0.6)
少し取ってくれた	60 (14.8)	98 (9.7)	158 (11.2)
かなり取ってくれた	170 (42.0)	414 (40.9)	584 (41.2)
十分に取ってくれた	168 (41.5)	488 (48.3)	656 (46.3)
無回答	3 (0.7)	7 (0.7)	10 (0.7)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

10) 先生は、あなたの訴えを理解してくれたと思うか？

患者自身の訴えを施術者が理解してくれたと思うかについては、「全く理解してくれなかった」の回答はみられず、「十分に理解してくれた」759名:53.6%（男性191名:47.2%、女性568名:56.1%）、「かなり理解してくれた」572名:40.4%（男性185名:45.7%、女性387名:38.3%）、「少し理解してくれた」71名:5.0%

（男性26名:6.4%、女性45名:4.5%）、「ほとんど理解してくれなかった」4名0.3%（男性2名:0.5%、女性2名:0.2%）となった（表21）。

表 21：先生はあなたの訴えを理解してくれたと思うか？

訴えの理解度	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
全く理解してくれなかった	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ほとんど理解してくれなかった	2 (0.5)	2 (0.2)	4 (0.3)
少し理解してくれた	26 (6.4)	45 (4.5)	71 (5.0)
かなり理解してくれた	185 (45.7)	387 (38.3)	572 (40.4)
十分に理解してくれた	191 (47.2)	568 (56.1)	759 (53.6)
無回答	1 (0.2)	9 (0.9)	10 (0.7)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

11) 先生は、あなたの訴えを聞く時に何で記録をつけたか？

先生が何で記録をつけたかについては、「ボールペン」415名:29.3%（男性137名:33.8%、女性278名:27.5%）となり、「鉛筆」35名:2.5%（男性14名:3.5%、女性21名:2.1%）、「サインペン」2名:0.1%（男性1名:0.2%、女性1名:0.1%）、「マジック」6名:0.4%（男性3名:0.7%、女性3名:0.3%）、「パソコン」74名:5.2%（男性21名:5.2%、女性53名:5.2%）、「記録を付けなかった」199名:14.1%（男性54名:13.4%、女性145名:14.3%）、「分からない」638名:45.1%（男性164名:40.5%、女性474名:46.9%）となった（表22）。

表 22：先生は、あなたの訴えを聞く時に何で記録をつけたか？

何で記録をつけたか	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
鉛筆	14 (3.5)	21 (2.1)	35 (2.5)
ボールペン	137 (33.8)	278 (27.5)	415 (29.3)
サインペン	1 (0.2)	1 (0.1)	2 (0.1)
マジック	3 (0.7)	3 (0.3)	6 (0.4)
パソコン	21 (5.2)	53 (5.2)	74 (5.2)



記録をつけなかった	54 (13.4)	145 (14.3)	199 (14.1)
分からない	164 (40.5)	474 (46.9)	638 (45.1)
その他	3 (0.7)	7 (0.7)	10 (0.7)
無回答	8 (2.0)	29 (2.9)	37 (2.6)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

12) 先生が、あなたの訴えを聞く際、筆記の代わりに録音する事に同意できるか？

先生が、筆記の代わりに録音をする事に同意できるかについては、「できる」563名:39.7%（男性215名:53.1%、女性348名:34.4%）、「できない」267名:18.9%（男性54名:13.3%、女性213名:21.1%、「分からない」555名:39.2%（男性132名:32.6%、女性423名:41.8%）となった（表23）。

表 23 : あなたの訴えを聞く際、筆記の代わりに録音する事に同意できるか？

録音に同意できるか	男性(%)	女性(%)	合計(%)
できる	215 (53.1)	348 (34.4)	563 (39.7)
できない	54 (13.3)	213 (21.1)	267 (18.9)
分からない	132 (32.6)	423 (41.8)	555 (39.2)
無回答	4 (1.0)	27 (2.7)	31 (2.2)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

13) あなたは先生とのコミュニケーションに満足しているか？ (VASによる評価)

先生とのコミュニケーションについては、全体の平均値は83.4 [15.2] mmであった。分布では、「90～99」424名:30.0%（男性111名:27.4%女性313名:31.0%）が最頻値となり、次いで「80～89」362名:25.6%（男性107名:26.4%、女性255名:25.2%）、「70～79」186名:13.1%（男性60名:14.8%、女性126名:12.5%）、「100」149名:10.5%（男性35名:8.6%、女性52名:5.1%）であった（表24）。

表 24 : あなたは先生とのコミュニケーションに満足しているか？

VAS	男性(%)	女性(%)	合計(%)
0～9	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
10～19	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)
20～29	4 (1.0)	5 (0.5)	9 (0.6)
30～39	6 (1.5)	5 (0.5)	11 (0.8)
40～49	4 (1.0)	15 (1.5)	19 (1.3)
50～59	22 (5.4)	50 (4.9)	72 (5.1)
60～69	31 (7.7)	75 (7.4)	106 (7.5)
70～79	60 (14.8)	126 (12.5)	186 (13.1)
80～89	107 (26.4)	255 (25.2)	362 (25.6)
90～99	111 (27.4)	313 (31.0)	424 (30.0)
100	35 (8.6)	114 (11.3)	149 (10.5)
無回答	25 (6.2)	52 (5.1)	77 (5.4)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

14) あなたは先生をどのくらい信頼しているか？ (VASによる評価)

先生への信頼度については、全体の平均値は86.9 [12.6] mmであった。19以下の回答はみられず、分布では、「90～99」512名:36.1%（男性111名:27.4%、女性401名:39.7%）最頻値となり、次いで「80～89」340名:24.0%（男性108名:26.7%、女性232名:22.9%）、「100」178名:12.6%（男性49名:12.1%、女性129名:12.7%）、「70～79」175名:12.4%（男性69名:17.1%、女性106名:10.5%）であった（表25）。

表 25 : あなたは先生をどのくらい信頼しているか？

VAS	男性(%)	女性(%)	合計(%)
0～9	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
10～19	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
20～29	1 (0.2)	0 (0.0)	1 (0.1)
30～39	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)
40～49	5 (1.2)	18 (1.8)	23 (1.6)

50～59	12 ( 3.0)	24 ( 2.4)	36 ( 2.5)
60～69	22 ( 5.4)	37 ( 3.7)	59 ( 4.2)
70～79	69 (17.1)	106 (10.5)	175 (12.4)
80～89	108 (26.7)	232 (22.9)	340 (24.0)
90～99	111 (27.4)	401 (39.7)	512 (36.1)
100	49 (12.1)	129 (12.7)	178 (12.6)
無回答	228 ( 6.9)	63 ( 6.2)	91 ( 6.4)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

### 15) コミュニケーションと患者-施術者関係についての相関関係

コミュニケーションと患者-施術者関係についての相関関係が認められた項目については、先生への信頼 (0.785)、状態の説明時間 (0.556)、先生との距離 (0.554)、訴えの話しやすさ (0.550)、話を聞く時間 (0.542)、訴えの理解度 (0.525)、訴えの確認 (0.502)、説明の分かりやすさ (0.486)、先生の言葉遣い (0.486)、うなずきや相づち (0.483)、顔を見てくれたか (0.439) の順であった。(表 26)。

表 26: コミュニケーションと患者-施術者関係についての相関関係 (Spearman の順位相関係数)

調査内容	$\rho$	P 値	n
先生への信頼	.785	<.001	1324
状態の説明時間	.556	<.001	1346
先生との距離	.554	<.001	1345
訴えの話しやすさ	.550	<.001	1347
話を聞く時間	.542	<.001	1347
訴えの理解度	.525	<.001	1348
訴えの確認	.502	<.001	1346
説明の分かりやすさ	.486	<.001	1349
先生の言葉遣い	.486	<.001	1346
うなずきや相づち	.483	<.001	1347
顔を見てくれたか	.439	<.001	1338

### 16) 信頼度と患者-施術者関係についての相関関係

信頼度と患者-施術者関係についての相関関係が認められた項目については、先生とのコミュニケーション (0.785)、状態の説明時間 (0.505)、先生との距離 (0.492)、訴えの理解度 (0.490)、話を聞く時間 (0.475)、訴えの話しやすさ (0.470)、先生の言葉遣い (0.464)、訴えの確認 (0.464)、説明の分かりやすさ (0.464)、うなずきや相づち (0.397)、顔を見てくれたか (0.381) の順であった。(表 27)。

表 27: 信頼度と患者-施術者関係についての相関関係 (Spearman の順位相関係数)

調査内容	$\rho$	P 値	n
先生とのコミュニケーション	.785	<.001	1324
状態の説明時間	.505	<.001	1332
先生との距離	.492	<.001	1330
訴えの理解度	.490	<.001	1332
話を聞く時間	.475	<.001	1333
訴えの話しやすさ	.470	<.001	1334
先生の言葉遣い	.464	<.001	1331
訴えの確認	.464	<.001	1333
説明の分かりやすさ	.464	<.001	1335
うなずきや相づち	.397	<.001	1333
顔を見てくれたか	.381	<.001	1322

## 8. 鍼灸治療費と経済状況について

### 1) 鍼灸治療を健康保険で受けているか?

保険診療については、「いいえ」880名:62.1% (男性266名:65.6%、女性614名:60.7%)であった。一方「はい」491名:34.7% (男性125名:30.9%、女性366名:36.2%)と保険診療を受けているとの回答があった(表 28)。

表 28 : 鍼灸治療を健康保険で受けているか？

保険の有無	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
はい	125 (30.9)	366 (36.2)	491 (34.7)
いいえ	266 (65.6)	614 (60.7)	880 (62.1)
分からない	10 (2.5)	24 (2.4)	34 (2.4)
無回答	4 (1.0)	7 (0.7)	11 (0.8)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 2) 鍼灸治療で1回に払う治療費

治療費は、「3001～4000円」387名:27.3% (男性114名:28.1%、女性273名:27.0%)、「2001～3000円」284名:20.0% (男性91名:22.5%、女性193名:19.1%)に多く、保険診療や初診の患者などもみられたため、「0～1000円」213名:15.0% (男性61名:15.1%、女性152名:15.0%)、「1001～2000円」208名:14.7% (男性59名:14.6%、女性149名:14.7%)の回答もみられた(表29)。

表 29 : 鍼灸治療で1回に払う治療費

治療費	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
0～1000円	61 (15.1)	152 (15.0)	213 (15.0)
1001～2000円	59 (14.6)	149 (14.7)	208 (14.7)
2001～3000円	91 (22.5)	193 (19.1)	284 (20.0)
3001～4000円	114 (28.1)	273 (27.0)	387 (27.3)
4001～5000円	51 (12.6)	148 (14.7)	199 (14.1)
5000円以上	21 (5.2)	81 (8.0)	102 (7.2)
分からない	3 (0.7)	8 (0.8)	11 (0.8)
無回答	5 (0.2)	7 (0.7)	12 (0.9)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 3) 鍼灸治療に対して治療費はどう思うか？

治療費がどうかについては、「もっと安い方が良いと思う」132名:9.3% (男性32名:7.9%、女性100名:9.9%)、「もう少し安くても良いと思う」424名:30.0% (男性122名:30.1%、女性302

名:29.8%)であったのに対し、「もっと高くても価値があると思う」25名:1.8% (男性8名:2.0%、女性17名:1.7%)、「もう少し高くても良いと思う」54名:3.8% (男性20名:4.9%、女性34名:3.4%)、「これでよい」の回答は762名:53.8% (男性213名:52.6%、女性549名:54.3%)であった(表30)。

表 30 : 鍼灸治療に対して治療費はどう思うか？

治療費はどうか	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
もっと安い方が良いと思う	32 (7.9)	100 (9.9)	132 (9.3)
もう少し安くても良いと思う	122 (30.1)	302 (29.8)	424 (30.0)
これでよい	213 (52.6)	549 (54.3)	762 (53.8)
もう少し高くても良いと思う	20 (4.9)	34 (3.4)	54 (3.8)
もっと高くても価値がある	8 (2.0)	17 (1.7)	25 (1.8)
無回答	10 (2.5)	9 (0.9)	19 (1.3)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 4) 年収はどのくらいか？

年収はどのくらいかについては、割合として10%以上を示したのは「200～300万円未満」241名:17.0% (男性74名:18.3%、女性167名:16.5%)、「300～400万円未満」225名:15.9% (男性66名:16.3%、女性159名:15.8%)、「400～500万円未満」163名:11.6% (男性57名:14.1%、女性106名:10.5%)でみられた。(表31)。

表 31 : 世帯年収はどのくらいか？

年収	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
100万円未満	9 (2.2)	52 (5.1)	61 (4.3)
100～200万円未満	17 (4.2)	111 (11.0)	128 (9.0)
200～300万円未満	74 (18.3)	167 (16.5)	241 (17.0)
300～400万円未満	66 (16.3)	159 (15.8)	225 (15.9)
400～500万円未満	57 (14.1)	106 (10.5)	163 (11.6)
500～600万円未満	41 (10.1)	84 (8.3)	125 (8.8)
600～700万円未満	28 (6.9)	71 (7.0)	99 (7.0)

700～800万円未満	32 ( 7.9)	54 ( 5.3)	86 ( 6.1)
800～900万円未満	14 ( 3.5)	32 ( 3.2)	46 ( 3.2)
900～1000万円未満	16 ( 3.9)	30 ( 3.0)	46 ( 3.2)
1000万円以上	34 ( 8.4)	79 ( 7.8)	113 ( 8.0)
無回答	34 ( 8.4)	66 ( 6.5)	83 ( 5.9)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 9. 鍼灸治療の環境について

1) 待合室の清潔度合いについてどのように思っているか？

待合室の清潔については、「清潔である」661名：46.7%（男性 204 名：50.4%、女性 457 名：45.2%）、「とても清潔である」661 名：46.7%（男性 177 名：43.7%、女性 484 名：47.8%）となり、合わせると9割以上（1322 名：93.4%）と大半を占め、「もう少し清潔にしてほしい」45 名：3.2%（男性 9 名：2.2%、女性 36 名：3.6%）、「もっと清潔にしてほしい」9 名：0.6%（男性 2 名：0.6%、女性 7 名：0.7%）となった（表 32）。

表 32：待合室の清潔度合いはどのように思っているか？

待合室の清潔	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
もっと清潔にしてほしい	2 ( 0.5)	7 ( 0.7)	9 ( 0.6)
もう少し清潔にしてほしい	9 ( 2.2)	36 ( 3.6)	45 ( 3.2)
清潔である	204 (50.4)	457 (45.2)	661 (46.7)
とても清潔である	177 (43.7)	484 (47.8)	661 (46.7)
分からない	12 ( 3.0)	17 ( 1.7)	29 ( 2.0)
無回答	1 ( 0.2)	10 ( 1.0)	11 ( 0.8)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

2) トイレの清潔度合いについてどのように思っているか？

トイレの清潔については、「清潔である」568 名：40.1%（男性 178 名：44.0%、女性 390 名：38.6%）、「とても清潔である」569 名：40.2%（男性 158 名：39.0%、女性 411 名：40.6%）であった。一方で、「もう少し清潔にしてほしい」33

名：2.3%（男性 9 名：2.2%、女性 24 名：2.4%）、「もっと清潔にしてほしい」7 名：0.5%（男性 1 名：0.2%、女性 6 名：0.6%）となった（表 33）。

表 33：トイレの清潔度合いはどのように思っているか？

トイレの清潔	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
もっと清潔にしてほしい	1 ( 0.2)	6 ( 0.6)	7 ( 0.5)
もう少し清潔にしてほしい	9 ( 2.2)	24 ( 2.4)	33 ( 2.3)
清潔である	178 (44.0)	390 (38.6)	568 (40.1)
とても清潔である	158 (39.0)	411 (40.6)	569 (40.2)
分からない	55 (13.6)	155 (15.3)	210 (14.8)
無回答	4 ( 1.0)	25 ( 2.5)	29 ( 2.1)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

3) 治療室（床や壁）の清潔度合いについてどのように思っているか？

治療室の清潔については、「清潔である」697 名：49.2%（男性 217 名：53.6%、女性 480 名：47.5%）、「とても清潔である」608 名：42.9%（男性 162 名：40.1%、女性 446 名：44.1%）となり、合わせると9割以上（1305 名：92.1%）と大半を占め、「もっと清潔にしてほしい」6 名：0.4%（男性 1 名：0.2%、女性 5 名：0.5%）、「もう少し清潔にしてほしい」65 名：4.5%（男性 15 名：3.7%、女性 50 名：4.9%）となった（表 34）。

表 34：治療室（床や壁）の清潔度合いはどのように思っているか？

治療室の清潔	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
もっと清潔にしてほしい	1 ( 0.2)	5 ( 0.5)	6 ( 0.4)
もう少し清潔にしてほしい	15 ( 3.7)	50 ( 4.9)	65 ( 4.5)
清潔である	217 (53.6)	480 (47.5)	697 (49.2)
とても清潔である	162 (40.1)	446 (44.1)	608 (42.9)
分からない	9 ( 2.2)	19 ( 1.9)	28 ( 2.0)
無回答	1 ( 0.2)	11 ( 1.1)	12 ( 0.9)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

4) ベッドまわりの清潔度合いについてどのように思っているか？

ベッドまわりの清潔については、「清潔である」734名:51.8%（男性225名:55.6%、女性509名:50.3%）、「とても清潔である」570名:40.2%（男性147名:36.3%、女性423名:41.8%）となり、合わせると9割以上（1304名:92.0%）と大半を占め、「もっと清潔にしてほしい」7名:0.5%（男性1名:0.2%、女性6名:0.6%）、「もう少し清潔にしてほしい」66名:4.7%（男性21名:5.2%、女性45名:4.5%）となった（表35）。

表 35 : ベッドまわりの清潔度合いについてどのように思っているか？

ベッドまわりの清潔	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
もっと清潔にしてほしい	1 ( 0.2)	6 ( 0.6)	7 ( 0.5)
もう少し清潔にしてほしい	21 ( 5.2)	45 ( 4.5)	66 ( 4.7)
清潔である	225 (55.6)	509 (50.3)	734 (51.8)
とても清潔である	147 (36.3)	423 (41.8)	570 (40.2)
分からない	10 ( 2.5)	17 ( 1.7)	27 ( 1.9)
無回答	1 ( 0.2)	11 ( 1.1)	12 ( 0.9)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

5) 先生は鍼を刺す所を丁寧に消毒してくれているか？

鍼を刺す部位の消毒については、「丁寧に消毒してくれている」789名:55.8%（男性225名:55.6%、女性564名:55.8%）、「とても丁寧に消毒してくれている」391名:27.6%（男性117名:28.8%、女性274名:27.1%）となった。一方で、「もう少し丁寧に消毒してほしい」74名:5.2%（男性21名:5.2%、女性53名:5.2%）、「もっと丁寧に消毒してほしい」13名:0.9%（男性3名:0.7%、女性10名:1.0%）となった（表36）。

表 36 : 先生は鍼を刺す所を丁寧に消毒してくれているか？

鍼を刺す部位の消毒	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
もっと丁寧に消毒してほしい	3 ( 0.7)	10 ( 1.0)	13 ( 0.9)
もう少し丁寧にしてほしい	21 ( 5.2)	53 ( 5.2)	74 ( 5.2)
丁寧に消毒してくれている	225 (55.6)	564 (55.8)	789 (55.8)
とても丁寧にしてくれている	117 (28.8)	274 (27.1)	391 (27.6)
分からない	31 ( 7.7)	97 ( 9.6)	128 ( 9.0)
無回答	8 ( 2.0)	13 ( 1.3)	21 ( 1.5)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

6) 先生は鍼を刺す前に丁寧に手を消毒しているか？

施術者の手の消毒については、「丁寧に消毒してくれている」616名:43.5%（男性193名:47.6%、女性423名:41.8%）、「とても丁寧に消毒してくれている」344名:24.2%（男性97名:24.0%、女性247名:24.4%）であった。一方で、「もっと丁寧に消毒してほしい」8名:0.6%（男性2名:0.5%、女性6名:0.6%）、「もう少し丁寧に消毒してほしい」42名:3.0%（男性13名:3.2%、女性29名:2.9%）、「分からない」388名:27.4%（男性93名:23.0%、女性295名:29.2%）の回答がみられた（表37）。

表 37 : 先生は鍼を刺す前に丁寧に手を消毒しているか？

手指の消毒	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
もっと丁寧に消毒してほしい	2 ( 0.5)	6 ( 0.6)	8 ( 0.6)
もう少し丁寧にしてほしい	13 ( 3.2)	29 ( 2.9)	42 ( 3.0)
丁寧に消毒してくれている	193 (47.6)	423 (41.8)	616 (43.5)
とても丁寧にしてくれている	97 (24.0)	247 (24.4)	344 (24.2)
分からない	93 (23.0)	295 (29.2)	388 (27.4)
無回答	7 ( 1.7)	11 ( 1.1)	18 ( 1.3)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

7) 鍼灸院全体の衛生管理はどのように思っているか？ (VASによる評価)

鍼灸院全体の衛生管理については、全体の平均は 81.1 [16.4] mm であった。「90～99」399名:28.2% (男性 95 名:23.4%、女性 304 名:30.1%) が最頻値となり、「80～89」346名:24.5% (男性 104 名:25.7%、女性 242 名:23.9%)、「70～79」208 名:14.7% (男性 67 名:16.5%、女性 141 名:13.9%)、「100」112 名:7.9% (男性 25 名:6.2%、女性 87 名:8.6%) であった (表 38)。

表 38 : 鍼灸院全体の衛生管理はどのように思っているか？

VAS	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
0～9	0 ( 0.0)	1 ( 0.1)	1 ( 0.1)
10～19	0 ( 0.0)	2 ( 0.2)	2 ( 0.1)
20～29	2 ( 0.5)	8 ( 0.8)	10 ( 0.7)
30～39	3 ( 0.7)	6 ( 0.6)	9 ( 0.6)
40～49	16 ( 4.0)	35 ( 3.5)	51 ( 3.6)
50～59	25 ( 6.2)	77 ( 7.6)	102 ( 7.2)
60～69	40 ( 9.9)	52 ( 5.1)	92 ( 6.5)
70～79	67 (16.5)	141 (13.9)	208 (14.7)
80～89	104 (25.7)	242 (23.9)	346 (24.5)
90～99	95 (23.4)	304 (30.1)	399 (28.2)
100	25 ( 6.2)	87 ( 8.6)	112 ( 7.9)
無回答	28 ( 6.9)	56 ( 5.6)	84 ( 5.9)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

8) 先生は治療にどのような鍼を使用しているか？

使用している鍼については、「使い捨ての鍼」783 名:55.3% (男性 231 名:57.0%、女性 552 名:54.6%) であった。一方で「使い捨てではない鍼」92 名:6.5% (男性 26 名:6.4%、女性 66 名:6.5%)、「使い捨てではない自分専用の鍼」88 名:6.2% (男性 31 名:7.7%、女性 57 名:5.6%)、

「分からない」の回答が 412 名:29.1% (男性 103 名:25.5%、女性 309 名:30.6%) みられた (表 39)。

表 39 : 先生は治療にどのような鍼を使用しているか？

使用している鍼の種類	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
使い捨ての鍼	231 (57.0)	552 (54.6)	783 (55.3)
使い捨てではない鍼	26 ( 6.4)	66 ( 6.5)	92 ( 6.5)
使い捨てではない自分専用の鍼	31 ( 7.7)	57 ( 5.6)	88 ( 6.2)
その他の鍼	3 ( 0.7)	5 ( 0.5)	8 ( 0.6)
分からない	103 (25.5)	309 (30.6)	412 (29.1)
無回答	7 ( 1.7)	22 ( 2.2)	33 ( 2.3)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

10. 鍼灸への期待について

1) 鍼灸受診前、鍼灸治療に対してどのくらい期待を持っていたか？ (VASによる評価)

鍼灸受診前の期待については、全体の平均は 72.9 [21.1] mm であった。「80～89」316 名:22.3% (男性 97 名:24.0%、女性 219 名:21.7%) が最頻値となり、「90～99」270 名:19.1% (男性 68 名:16.8%、女性 202 名:20.0%)、「70～79」200 名:14.1% (男性 61 名:15.1%、女性 139 名:13.7%)、「60～69」140 名:9.9% (男性 39 名:9.6%、女性 101 名:10.0%)、「40～49」138 名:9.8% (男性 38 名:9.4%、女性 100 名:9.9%)、「50～59」123 名:8.7% (男性 41 名:10.1%、女性 82 名:8.1%)、「100」59 名:4.2% (男性 15 名:3.7%、女性 44 名:4.3%) であった (表 40)。

表 40 : 鍼灸受診前、鍼灸治療に対してどのくらい期待を持っていたか？

VAS	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
0～9	2 ( 0.5)	11 ( 1.1)	13 ( 0.9)
10～19	3 ( 0.7)	16 ( 1.6)	19 ( 1.3)
20～29	6 ( 1.5)	25 ( 2.5)	31 ( 2.2)
30～39	5 ( 1.2)	14 ( 1.4)	19 ( 1.3)

40～49	38 ( 9.4)	100 ( 9.9)	138 ( 9.8)
50～59	41 (10.1)	82 ( 8.1)	123 ( 8.7)
60～69	39 ( 9.6)	101 (10.0)	140 ( 9.9)
70～79	61 (15.1)	139 (13.7)	200 (14.1)
80～89	97 (24.0)	219 (21.7)	316 (22.3)
90～99	68 (16.8)	202 (20.0)	270 (19.1)
100	15 ( 3.7)	44 ( 4.3)	59 ( 4.2)
無回答	30 ( 7.4)	58 ( 5.7)	88 ( 6.2)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 2) 現在鍼灸治療に最も期待しているものは？

現在の鍼灸治療の期待については、「症状の軽減」674名:47.6%（男性190名:46.9%、女性484名:47.8%）、「病気の治癒」307名:21.7%（男性102名:25.2%、女性205名:20.3%）、次いで「病気の予防（健康維持）」234名:16.5%（男性59名:14.6%、女性175名:17.3%）、「健康増進」101名:7.2%（男性26名:6.4%、女性75名:7.4%）の順であった（表41）。

表41：現在鍼灸に最も期待しているものは？

最も期待しているもの	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
健康増進	26 ( 6.4)	75 ( 7.4)	101 (7.2)
病気の予防（健康維持）	59 (14.6)	175 (17.3)	234 (16.5)
病気の治癒	102 (25.2)	205 (20.3)	307 (21.7)
症状の軽減	190 (46.9)	484 (47.8)	674 (47.6)
リラックス	4 ( 1.0)	19 ( 1.9)	23 ( 1.6)
コミュニケーション	0 ( 0.0)	2 ( 0.2)	2 ( 0.1)
日常生活の向上	8 ( 2.0)	19 ( 1.9)	27 ( 1.9)
その他	3 ( 0.7)	5 ( 0.5)	8 ( 0.6)
無回答	13 ( 3.2)	27 ( 2.7)	40 ( 2.8)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 3) 鍼灸治療の効果について（VASによる評価）

鍼灸治療の効果については、全体の平均は72.8 [20.0] mmであった。「80～89」345名:24.4%（男

性95名:23.2%、女性206名:20.4%）が最頻値となり、「70～79」300名:21.2%（男性94名:23.2%、女性206名:20.4%）、「90～99」194名:13.7%（男性52名:12.9%、女性142名:14.0%）、「60～69」190名:13.4%（男性54名:13.3%、女性136名:13.5%）、であった（表42）。

表42：鍼灸治療の効果

VAS	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
0～9	8 ( 2.0)	12 ( 1.2)	20 ( 1.4)
10～19	9 ( 2.2)	7 ( 0.7)	16 ( 1.1)
20～29	7 ( 1.7)	21 ( 2.1)	28 ( 2.0)
30～39	5 ( 1.2)	26 ( 2.6)	31 ( 2.2)
40～49	18 ( 4.4)	49 ( 4.8)	67 ( 4.7)
50～59	20 ( 4.9)	55 ( 5.4)	75 ( 5.3)
60～69	54 (13.3)	136 (13.5)	190 (13.4)
70～79	94 (23.2)	206 (20.4)	300 (21.2)
80～89	95 (23.5)	250 (24.7)	345 (24.4)
90～99	52 (12.9)	142 (14.0)	194 (13.7)
100	12 ( 3.0)	32 ( 3.2)	44 ( 3.1)
無回答	31 ( 7.7)	75 ( 7.4)	106 ( 7.5)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 4) これからも鍼灸治療を受けてみようと思うか？

これからも鍼灸治療を受けるかについては、「はい」1397名:98.6%（男性398名:98.3%、女性999名:98.8%）、「いいえ」4名:0.3%（男性2名:0.5%、女性2名:0.3%）であった（表43）。

表43：これからも鍼灸治療を受けてみようと思うか？

受診を続けたいか	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
はい	398 (98.3)	999 (98.8)	1397 (98.6)
いいえ	2 ( 0.5)	2 ( 0.2)	4 ( 0.3)
無回答	5 ( 1.2)	10 ( 1.0)	15 ( 1.3)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 11. 総合的な満足度について

総合的な満足度のVASの結果は、全体の平均は83.4 [13.5] mmであった。「80～89」445名:31.4% (男性139名:34.3%、女性306名:30.3%)が最頻値となり、次いで「90～99」417名:31.4% (男性97名:23.9%、女性320名:31.7%)となり、その他「10～19」2名:0.1% (男性2名:0.5%)、「20～29」4名:0.3% (男性2名:0.5%、女性2名:0.5%)、「30～39」5名:0.4% (男性2名:0.5%、女性3名:0.3%)、「40～49」12名:0.8% (男性2名:0.5%、女性10名:1.0%)、「50～59」64名:4.5% (男性17名:4.2%、女性47名:4.6%)、「60～69」102名:7.2% (男性38名:9.4%、女性64名:6.3%)、「70～79」204名:14.4% (男性62名:15.3%、女性142名:14.0%)、「100」98名:6.9% (男性23名:5.7%、女性75名:7.4%)であった(表44)。

表44：総合的な満足度(VAS)

VAS	男性(%)	女性(%)	合計(%)
0～9	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
10～19	2 (0.5)	0 (0.0)	2 (0.1)
20～29	2 (0.5)	2 (0.2)	4 (0.3)
30～39	2 (0.5)	3 (0.3)	5 (0.4)
40～49	2 (0.5)	10 (1.0)	12 (0.8)
50～59	17 (4.2)	47 (4.6)	64 (4.5)
60～69	38 (9.4)	64 (6.3)	102 (7.2)
70～79	62 (15.3)	142 (14.0)	204 (14.4)
80～89	139 (34.3)	306 (30.3)	445 (31.4)
90～99	97 (23.9)	320 (31.7)	417 (29.5)
100	23 (5.7)	75 (7.4)	98 (6.9)
無回答	21 (5.2)	42 (4.2)	63 (4.5)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

総合的な満足度のカテゴリカルスケールの結果は、「大変満足」417名:29.5% (男性110名:27.2%、女性307名:30.3%)、「満足」796

名:56.2% (男性232名:57.3%、女性564名:55.8%)、「普通」180名:12.7% (男性53名:13.1%、女性127名:12.6%)であった。一方で、「大変不満」2名:0.2% (男性1名:0.2%、女性2名:0.2%)、不満7名:0.5% (男性5名:1.2%、女性2名:0.2%)の回答がみられた(表45)。

表45：総合的な満足度(カテゴリカルスケール)

カテゴリ	男性(%)	女性(%)	合計(%)
大変不満	1 (0.2)	2 (0.2)	3 (0.2)
不満	5 (1.2)	2 (0.2)	7 (0.5)
普通	53 (13.1)	127 (12.6)	180 (12.7)
満足	232 (57.3)	564 (55.8)	796 (56.2)
大変満足	110 (27.2)	307 (30.3)	417 (29.5)
無回答	4 (1.0)	9 (0.9)	13 (0.9)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

総合的な満足度のフェイススケールの結果は、「1. 泣いている顔」2名:0.1% (男性2名:0.5%)、「2. 泣きそうな顔」5名:0.4% (男性2名:0.7%、女性2名:0.2%)、「3. 少し悲しそうな顔」10名:2.5% (男性10名:2.5%、女性17名:1.7%)、を不満しているとみなすと、合わせて3.0%となった。一方、「5. 少し笑っている顔」657名:46.4% (男性198名:48.9%、女性459名:45.4%)、「6. 喜んでいる顔」519名:36.6% (男性125名:30.9%、女性394名:38.9%)を満足しているとみなすと、合わせて83.0%となり、「4. 普通の顔」195名:13.8% (男性64名:15.9%、女性131名:13.0%)であった(表46)。

表46：総合的な満足度(フェイススケール)

顔の表情	男性(%)	女性(%)	合計(%)
1 泣いている顔	2 (0.5)	0 (0.0)	2 (0.1)
2 泣きそうな顔	2 (0.7)	2 (0.2)	5 (0.4)
3 少し悲しそうな顔	10 (2.5)	17 (1.7)	27 (1.9)



4 普通の顔	64 (15.9)	131 (13.0)	195 (13.8)
5 少し笑っている顔	198 (48.9)	459 (45.4)	657 (46.4)
6 喜んでいる顔	125 (30.9)	394 (38.9)	519 (36.6)
合計	405 (100)	1011 (100)	1416 (100)

## 12. 満足度に影響を与える要因

満足度に影響を与える要因を抽出するために、各質問項目と満足度の相関係数を検討し、変数増加法による重回帰分析を行った。その結果、相関関係では、相関が認められた項目については、先生への信頼度 (0.714)、先生とのコミュニケーション (0.656)、治療院全体の衛生管理 (0.573)、治療効果 (0.572)、状態の説明時間 (0.472)、訴えの理解度 (0.456)、訴えの確認 (0.444)、先生との距離 (0.437)、説明の分かりやすさ (0.428)、話を聞く時間 (0.427) であった (表 47)。変数増加法による重回帰分析では、抽出された 6 変数による重相関係数 (R) は 0.795、決定係数 (R<sup>2</sup>) が 0.630 を示した。多重共線性を診断する指標である VIF (Variance Inflation Factor) の値は、全ての変数で 10 未満を示し、変数間での多重共線性がみられないことが示された。さらに、満足度に対して影響を表すベータ値が高かった項目は、先生への信頼度 (0.387)、治療効果 (0.334) であった (表 48)。

表 47：満足度と各項目との相関関係 (Spearman の順位相関係数)

調査内容	$\rho$	P 値	n
先生への信頼度	.714	<.001	1321
先生とのコミュニケーション	.656	<.001	1335
治療院全体の衛生管理	.573	<.001	1328
治療効果	.572	<.001	1301
状態の説明時間	.472	<.001	1357
訴えの理解度	.456	<.001	1358
訴えの確認	.444	<.001	1358

先生との距離	.437	<.001	1357
説明の分かりやすさ	.428	<.001	1361
話を聞く時間	.427	<.001	1359

表 48：満足度に影響を与える要因 (重回帰分析、変数増加法) R=0.795 R<sup>2</sup>=0.630

	非標準化 係数	標準化係 数	
調査内容	B	ベータ	VIF
先生への信頼度	.408	.387	1.685
治療効果	.222	.334	1.198
治療院全体の衛生管理	.177	.224	1.372
訴えの確認	1.606	.082	1.283
治療費はの妥当性	.873	.052	1.372
鍼灸への期待感	.032	.051	1.059

## E. 考察

### 1. 回答者について

本調査では、配布した調査票 2,379 通のうち 1,441 通 (60.6%) が回収された。この回収率は高野らの調査<sup>3)</sup>の 59.7% とほぼ同等であることから、一定のレベルに達していると考えられる。

これは、配布を依頼した鍼灸院への事前の説明を十分にしたことと、患者からの同意を得た上で調査票を配布したことによるものと考えられた。しかしながら本調査の回答者の多くは通院年数が 1 年以上継続している者で (1,087/1,434 名, 75.9%)、総合的な満足度の VAS の平均値も通院年数 1 年以上の患者で 85mm であるのに対し、通院年数 1 年未満の患者では 80mm であることから、鍼灸治療に対して肯定的な意見を持っている患者に偏っている可能性は否定できない。その為、重回帰分析にて通院期間を調整因子として統計解析を行ったが、回答者が自分を良く見せ掛けるよう本心とは別に社会的に求められていることに回答してしまう Social desirability bias や

回答者が周りの関心や注目に影響を受け、調査に参加しているという意識によって普段以上に効果を上げようとする傾向がみられるという Hawthorne effect が働いた可能性も考えられた<sup>13)</sup>。従って、本調査結果は、鍼灸治療を比較的理解している患者の調査結果であることを理解した上で解釈する必要がある。

本調査対象となった患者の平均年齢(±SD)は56.7(±16.1)歳で、高野ら<sup>3)</sup>の報告(53.9(±17.2)歳)や森戸ら<sup>4)</sup>の報告(53.2(±17.1)歳)、石崎ら<sup>14)</sup>の報告(55(±14)歳)よりも高い傾向が認められた。また、性別については女性が約7割と高い割合を示したが、補完代替医療利用に関する本邦(女性68.0%)や欧米(女性65.3%)の報告<sup>3,14-17)</sup>で示されている女性優位という点では同様であった。

## 2. 健康状態と鍼灸治療の症状について

日本語版 EuroQol (EQ-5D) で健康状態を示す Tariff スコアの平均値(±SD)は0.79(±0.15)であり、過去の高野らの報告(0.78(±0.22))とほぼ同等の値を示した<sup>3)</sup>。一方5項目法では、完全な健康状態である1の値を示した患者は373名(27.0%)、痛み/不快感の項目で「中程度の痛みや不快感がある」と答えた患者は916名(65.1%)であり、高野らの報告(完全な健康状態1の値を示した患者が28.8%、中程度の痛みや不快感があると答えた患者が61.1%)<sup>3)</sup>と概ね同様の結果となった。一方、健診受診者2,314名を対象とした調査(平均(±SD)年齢65.5(±11.7)歳、回答者1,890名、男性656名:34.7%、女性1,234名:65.3%)では、完全な健康状態1と答えた患者は1,705名中935名(54.8%)で、痛み/不快感の項目で「中程度の痛みや不快感がある」と答えた患者は1,780名中683名(38.4%)であった<sup>18)</sup>。このことから、鍼灸院に通院する患者の多くは痛みや不快感を抱いており、そのことを動機として鍼

灸治療を受けている患者が多いと考えられた。

SF-36の8下位尺度の得点を、NBSを用いて変換したものでは、全体の平均値がいずれの項目も国民標準値を下回り、8下位尺度の中でBPは最も低い項目とされた。イギリスで行われた Garratt らは、腰痛を有する集団ではPF、RP、BPの平均スコアが国民の平均スコアの半分以下だったと報告している<sup>19)</sup>。また森戸ら<sup>4)</sup>の調査でも、鍼灸治療を受療した患者のSF-36の8下位尺度はいずれも低く、なかでもBPは最も低値(39.88)を示したことから、患者の多くは痛みを強く訴えて鍼灸治療を受療したと推察されており、本調査結果と同様の傾向が見られた。

鍼灸治療で受けている症状の回答結果では、肩のこりが最も多く、腰痛、首のこりの順で筋骨格系愁訴が上位を占めており、これは高野ら<sup>3)</sup>の報告や Yamashita ら<sup>20)</sup>の報告、Ishizaki ら<sup>21)</sup>の報告と概ね一致しており、筋骨格系愁訴が依然として鍼灸の治療対象の高い割合を占めていることが示された。これらの症状は平成22年国民生活基礎調査<sup>2)</sup>における全年代での有訴者率の上位(男性・女性ともに腰痛、肩こり)と同様であるが、同調査<sup>2)</sup>で有訴者率の項目に挙げられていない目の疲れ、冷えといった現代社会に特徴的な症状が本調査で20%以上と比較的高かった。これらの愁訴は10年前の高野ら<sup>3)</sup>の報告やその他の報告<sup>14,21)</sup>でも注目されていなかったことから、近年の鍼灸受療症状の特徴を表すものであると考えられた。

## 3. 鍼灸診療に対する患者の満足度について

患者の満足度に関する調査は、世界的にも病院を中心に積極的に行われており<sup>22-26)</sup>、近年では本邦でも、医療の質を改善するための情報として用いられている<sup>27,28)</sup>。本調査では、総合的な満足度はVAS平均値(±SD)で83.4(±13.5)mmであり、約10年前の高野ら<sup>3)</sup>の報告では81.4(±13.8)mm

と示されていることから、通院患者の満足度が依然として高い水準にあった。しかしながらこれらの結果は前述の通り、一定期間以上通院を継続している患者を対象としたものであり、満足度が高い者に偏っている可能性が高いと考えられる。こうした要因の影響を取り除くには、初診患者のみを対象とした分析が必要となるが、本調査では初診患者数が少なかったため、この点は今後の研究で明らかにされるべき課題である。また、これらの数値は絶対値として解釈するには限界があるため、病院など他の医療機関の利用者に対しての同様の調査を行い比較することが望ましい。

鍼灸診療の満足度と関連の深い要因についての解析結果では、衛生管理や治療効果についての相関が認められたのに加えて、施術者患者関係に関連した内容との関連が深く示された。重回帰分析についても単相関の結果と概ね同様（鍼灸師への信頼度、治療効果、衛生管理）の内容が抽出され、特に鍼灸師に対する信頼度は最も関連の深い内容として示された。これは10年前の高野ら<sup>3)</sup>の調査において治療効果が最も関連性が深いとされている報告と異なる結果を示した。

前田らは、「患者中心の医療を実践するには、患者-医師間の良好なコミュニケーションを土台として信頼関係をつくることである」<sup>29,30)</sup>と報告しており、「話がしやすい雰囲気がある」、「病気や治療について十分な説明をしてくれる」、「患者の症状をよく聴いてくれる」、「患者の気持ちを大切にす」といったコミュニケーションを大切にする医師を患者が望んでいることが分かっている。

本調査でも、満足度と関連の深い要因として「鍼灸師への信頼度」、「治療効果」、「衛生管理」が抽出されたが、最も満足度との関連が深い要因は「鍼灸師に対する信頼度」であった。このことより鍼灸治療への患者の最も意識しているものが「治療効果」であるとする10年前の報告<sup>3)</sup>が

ら変化しており、近年の患者中心の医療というものの傾向を反映していると考えられた。但し今回用いた指標の多くは患者の主観的な判断に負うところが大きいので、治療内容の詳細や設備の状況など治療者側からの客観的且つ具体的な情報をより多く盛り込んだ調査を行う必要性が考えられた。

#### 4. 筆記行動について

視覚障害者は、学習行動の中で録音により記録した内容を自宅での学習に役立てている場合も多い。しかし、臨床の現場では、患者との面接を録音することは難しいことが予想される。

そこで、「面接も場面を録音することに同意できるか」について調査した。その結果、「できる」が39.7%（男性53.1%、女性34.4%）、「できない」18.9%（男性13.3%、女性21.1%）であり、性差が認められるが、60-70%の患者は録音に抵抗があると考えられる。

したがって、臨床の現場でも患者との面接時の筆記行動は必要であり、筆記行動を促進するための教材の開発やプログラムが必要であると考ええる。

## F. 結論

授業時に筆記行動が見られない理療教育在籍者を対象に、文字入力システムを導入する教育プログラム作成するために、実際に鍼灸治療施設来室患者を対象に「良好な医療面接の要素分析」「鍼灸等臨床時の筆記行動」などに関するアンケート調査を実施した。

今回対象となった患者の健康状態は、Tariffスコア(EuroQo1)は平均 $0.72 \pm 0.14$ であり、鍼灸治療の対象症状では、腰・背部が最も多く、次いで膝・足、肩、首の順であった。施術者に対する信頼度と満足度については、先生への信頼、症状の話しやすさ、コミュニケーションが認められた。

また、筆記の代わりに録音する事に同意できるかの質問では、「できる」が 51.2%、「できない」14.6%であった。

これらのことから、日常生活、学習、就労による自立を目指す中途視覚障害者のはり師、きゅう師、あん摩マッサージ・指圧師を目指す者には、患者満足度・信頼度を高めるためのコミュニケーションに関する教材やプログラムの開発と筆記行動を促進するための教材の開発やプログラムが必要であると考ええる。

## 謝辞

本調査研究の協力者として、明治国際医療大学鍼灸学部鈴木雅雄、加藤竜司、石崎直人の各氏にご尽力いただいた。

## 参考文献

- 01) 総務省統計局：人口推計月報  
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/201106.pdf>
- 02) 厚生労働省：平成 22 年国民生活基礎調査の概況  
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa10/index.html>
- 03) 高野道代、福田文彦、石崎直人、矢野忠：鍼灸院通院患者の鍼灸医療に対する満足度に関する横断研究. 全日本鍼灸学会雑誌 2002;52(5), 562-574.
- 04) 森戸麻美、菅原正秋、吉川恵士：鍼治療を受療する患者における健康関連 QOL 評価. 日温気物医誌 2004;67(3),
- 05) 日本語版 EuroQol 開発委員会：日本語版 Euroqol の開発. 医療と社会 1998;8(3), 109-123.
- 06) Ikeda S, Ikegami N on behalf of the Japanese EuroQol Tariff Project: Health status in Japanese population; Result from Japanese EuroQol Study. 医療と社会 1999;9(3), 83-92.
- 07) 池上直己、福原俊一、下妻晃二郎、池田俊也 編集：臨床のための QOL 評価ハンドブック. 医学書院：東京 2001, 34-49.
- 08) Fukuhara S, Bito S, Green J, Hisa A, and Kurokawa K: Translation, adaptation, and validation of the SF-36 Health Survey for use in Japan. Journal of Clinical Epidemiology 1998;51(11), 1037-1044.
- 09) Fukuhara S, Ware JE, Kosinski M, Wada S, Gandek B: Psychometric and clinical tests of validity of the Japanese SF-36 Health survey. Journal of Clinical Epidemiology 1998;51(11), 1045-1053.
- 10) 福原俊一、鈴嶋よしみ：SF-36v2 日本語版マニュアル. NPO 健康医療評価研究機構. 2004.
- 11) 福原俊一：MOS Short-Form 36-Item Health Survey：新しい患者立脚型健康指標. 厚生指標 1999;46(4), 40-45.
- 12) R Development Core Team (2011). R: A language and environment for statistical computing. R Foundation for Statistical Computing, Vienna, Austria. ISBN 3-900051-07-0, URL [http://www.R-project.org/.](http://www.R-project.org/)
- 13) Sackett, D, L: Bias in analytic research. Journal of Chronic Disease 1979;32, 51-63.
- 14) 石崎直人、岩昌宏、矢野忠、小野直哉、西村周三、川喜田健司、丹沢章八：我が国における鍼灸の利用状況等に関する全国調査 その 1 鍼灸の利用状況について. 全日本鍼灸学会雑誌 2005;55, 697-705.
- 15) 鶴浩幸、石崎直人、谷口和久：Meiji College of Oriental Medicine (米国) 附属鍼診療所